

光ある喜びを あなたに

vol.002

2022.冬

宮田眼科病院広報誌

特集 白内障について



先生、教えて！



白内障について



当院の寺田先生に聞きました！

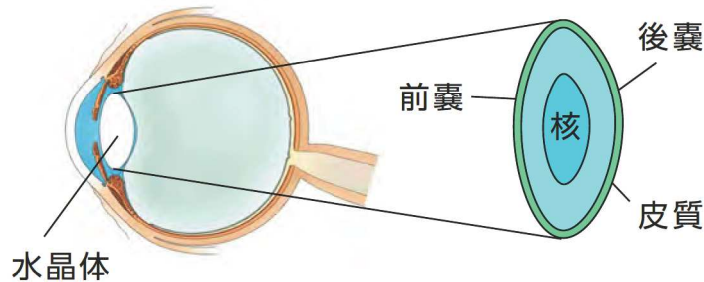


寺田 裕紀子

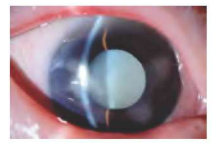
- ・眼科専門医
- ・眼科 PDT 認定医
- ・補助具指定医

白内障とは？

白内障とは眼の中にある水晶体が濁る病気です。



初期の白内障



進行した白内障

白内障の症状は？

初期は、光のまぶしさや暗い所での見えにくさを感じます。

進行すると視力が低下し、物がかすんで見えます。

白内障が原因で眼圧が急上昇したり、眼の中に炎症が起きて痛みを感じることも稀にあります。

手術のタイミングは？

基本となる目安は、見え方に満足できなくなり、日常生活に不自由を感じるようになってきたときです。

不自由がなくても早く手術をした方が安全なこともありますので医師に相談して下さい。

手術している所が見えますか？

手術顕微鏡のライトのまぶしさを感じたり、何かが動いているのが見えることはありますが、手術の道具がはっきりと見えることはありません。「何だかよく分からないがまぶしい」という感じです。

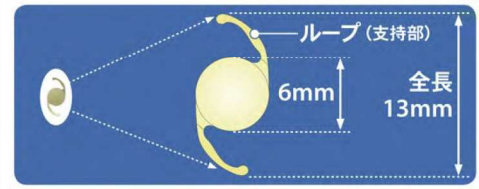
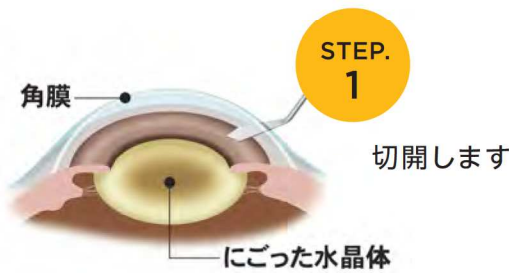
日帰り入院の違い

日帰り手術は、術後連日の通院が必要ですし、点眼や術後の安静など自己管理となります。それらが難しい方は入院での手術をお勧めします。

手術は痛いですか？

手術前は局所麻酔をします。個人差はありますが、触られる感覚はありますので、不快な場合はおっしゃって下さい。麻酔を追加します。

白内障手術ってどんな手術？



眼内レンズとは？

吸い出した水晶体の代わりとなる人工水晶体です

手術前の検査が多いのはなぜ？

白内障以外の疾患がある場合、白内障手術をしても期待通りの結果が得られないこともあります。また、通常の術式に耐えられない眼のつくりをされている方もいらっしゃいます。

そのため、手術前にしっかりと目の状態を把握する必要があり、様々な検査を行います。最適な眼内レンズを選択するための眼球形状の正しい測定も非常に重要です。

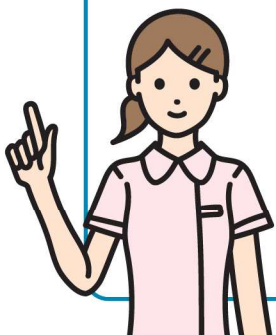
手術前に目の状態を把握するために検査をたくさんするんですね！



手術後の生活は？

個人差はありますが、**手術後約1週間程度で、通常通りの生活に戻ります。**
草取りや肉体労働、温泉、激しい運動などはもう少し先になります。

詳しくは手術後に、看護師から説明がありますので、ご質問下さい。



手術後、メガネはいつ作ればいいのか？



手術前に使用していたメガネは、多くの人は合わなくなります。

個人差はありますが、視力が安定するのは**手術後1～2ヶ月後**です。そのため、1～2ヶ月はメガネを作るのを待った方が無難です。

メガネなしでは日常生活や社会生活に困る場合には、当院眼鏡部でメガネの貸し出しを行っています。

オプティカルグラスミヤタ
☎0986-25-1327



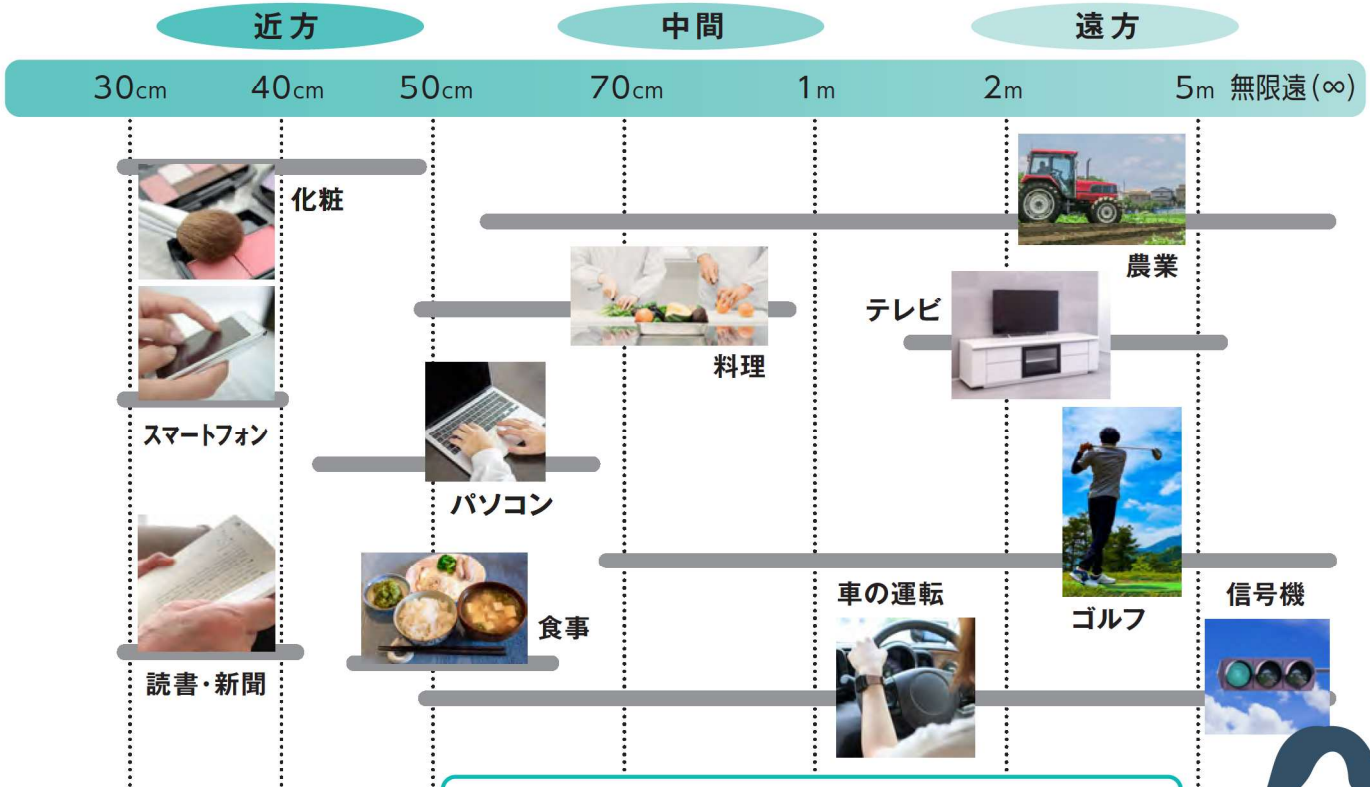


どこにピントを合わせたいの？

眼内レンズは水晶体のように厚みを変化させて全ての距離にピントを合わせることができないため、手術後のライフスタイルに合ったレンズを選ぶことが大切です。



遠方・近方ってどのくらいの距離のこと？



自分の生活に合った眼内レンズを選ばばいいのね！



単焦点レンズ

ピントが合う距離：**1つ**

(メガネなしで見える距離が限られる)

見え方の質：**良い**

(ピントを合わせた一点はとてもよい)



遠方に合わせた場合

遠くまたは、近くの1ヵ所にピントを合わせます。読書やスマートフォン、パソコンなど近くを見ることが多い方は、近くに眼内レンズのピントを合わせて、遠くを見るときは眼鏡が必要です。スポーツや車の運転など遠くを見ることが多い方は、遠くに眼内レンズのピントを合わせて近くを見るときは眼鏡が必要です。

多焦点レンズ

ピントが合う距離：**複数**

(メガネなしで見える距離が広い)

見え方の質：**おおむねよい**

(単焦点と比べ、ややぼやける・まぶしい)

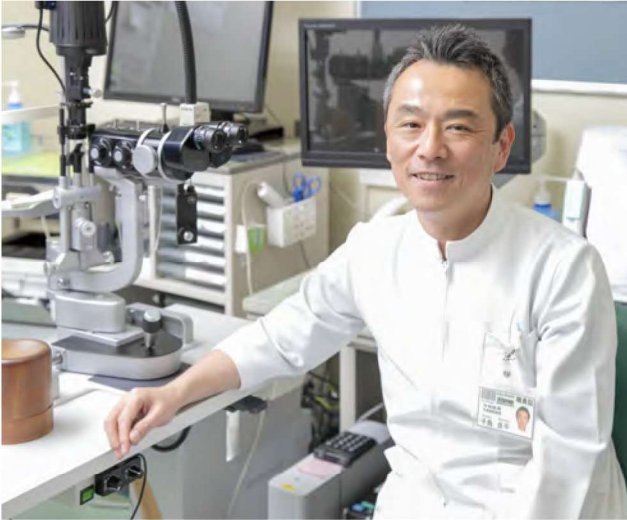


遠方と近方に合わせた場合



複数の距離にピントを合わせます。単焦点レンズと比較して、眼鏡をかけることが少なくなります。見える範囲は広がりますが、単焦点レンズに比べるとピントが甘く光がまぶしくぼやける感じなどあり、見え方に慣れるまで多少違和感が生じることがあります。

宮田眼科病院 スタッフ紹介



子島 良平

Ryohei Nejima

宮田眼科病院 副院長

- ・医学博士
- ・眼科専門医
- ・ICD 認定医

昭和45年生まれ。都城市出身。

学習院大学文学部卒業後、平成7年に宮崎医科大学医学部に再入学し平成13年に卒業。同年宮田眼科病院に入局。平成21年に医局長、28年に外来医長となり、令和2年より副院長に就任。

文学部卒業後、医学部へ

高校生の頃の私は文系コースを選択しており、学習院大学文学部に入学しました。大学に入学した際、将来は銀行や商社などに就職できれば、と考えていたことを覚えています。大学2年生のころだったでしょうか、先代の理事長である宮田典男先生より医学部に再入学してみないかと熱心にお誘い頂きました。（医者になってほしいという私の祖母が、典男先生に頼んでいたと後から聞きました！）4年生の頃には再入学を決意し両親の援助もあり、卒業後は予備校に通い宮崎医科大学（現宮崎大学医学部）に入学することができました。医科大学は進級することがかなり難しかったのですが（私と同じ年に入学した学生では半数が留年しました！）、なんとか6年で卒業することができました。

眼感染症との出会い

私の医師としての経歴ですが、2001年に宮田眼科病院に入局（医師の場合は就職することをこのように表現します）、宮田院長の指導の下で主に角膜疾患を学ぶことから始まりました。当初は右も左も判らずばたばたと毎日が過ぎていきましたが、2003年に転機が訪れました。この年、全国の主要な施設で感染性角膜炎（黒目の感染症）の調査が行われ、当院も参加、私が担当となりました。実際に担当してみて驚いたのは角膜炎の患者さんの多さでした（この全国調査での3分の1は当院からのデータでした！）。この調査をきっかけに眼の感染症に興味を持つようになり、以降

は当院を受診する感染性角膜炎の患者さんのほとんどを担当するようになりました。これに伴い眼感染症についての研究活動を行うようになり、学会等で発表する機会も増えてきました。私にとって本当に幸運だったのは、研究活動を通じ多くの眼感染症を専門とする先生方と知り合うことが出来たということです。自分一人では解決できないような難しい症例でも、先達の先生や同年代の先生方に相談することで患者さんにとって最良と思える治療を提供できる、そのような環境に感謝しています。

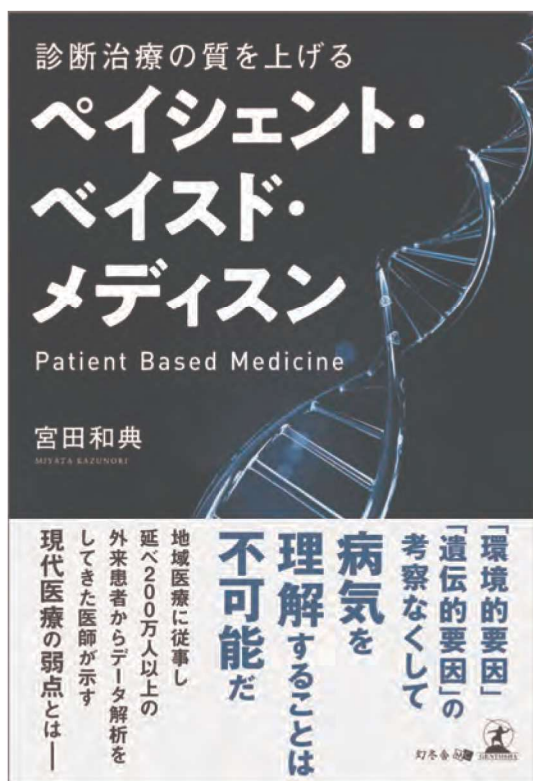
医師としてのこれから

これまでに多くの患者さんと出会った中で感じることは、私にとって医師は天職であったと思うほどやりがいがあるということです。診察や手術で患者さんが安心して、そして喜んでもらうことが私にとって最も嬉しいことです。医師としては中堅の域に入ってきましたが、これからも初心を忘れることなく患者さんに向き合っていきたいと思っています。



もともと音楽を聴くのが趣味で、学習院大学の頃からレコードを集めていました。都城に帰って来てから知人に声をかけて貰い、趣味としてDJを始めました。たまにイベントなどに出ていますので、声をかけて貰えると嬉しいです。

当院の理事長 宮田和典が書いた書籍が出版されました！



今回、拙著「ペイシェント・ベースド・メディスン」を発刊いたしました。
この本は、これまでこの地域の眼科診療を行いながら構築した、眼科医療に対する私の考え方とその成果をまとめたものです。
私が宮田眼科病院に赴任して20有余年が経ちますが、「光ある喜びをあなたに、最新にして最高の医療を提供する」この方針を貫いてきた成果のまとめとも言えます。

(医)明和会 宮田眼科病院 理事長 宮田和典

宮田和典

ペイシェント・ベースド・メディスン Patient Based Medicine
発行：幻冬舎メディアコンサルティング 発売：幻冬舎

当院の給食 人気メニュー紹介



当院では、食材と手作りにこだわり、患者様の入院生活における楽しみとして、美味しい食事を提供出来るよう、日々心がけています。また、季節に応じて旬の食材やメニューも取り入れる様にしています。

写真は、当院で好評を頂いていますカレーライスです。給食開始当初からの味を受け継ぎ、子どもから大人まで美味しく召し上がって頂けるような、甘口のカレーとなっています。



お知らせ



病院での待ち時間を少しでも快適に過ごしていただけるように、院内にフリーWi-Fiを設置しました。



新型コロナウイルス感染症対策のため、入館時に検温を行っています。また入院や日帰り手術の際には、PCR検査または抗原検査を実施しています。その他、院内の感染対策を徹底しております。



Miyata Eye Hospital

宮田眼科病院

宮崎県都城市蔵原町6街区3号
TEL.0986-22-1441 (代表)

予約 ☎0986-46-1200

鹿児島宮田眼科

鹿児島県鹿児島市西田1丁目5-1 高見橋ビル1F・2F
TEL.099-286-1213 (代表)

予約 ☎099-286-1233



miyata-med.ne.jp